

会社概要

(2018年4月20日現在)

商 号 株式会社ダイサン DAISAN CO., LTD.  
 設 立 1975 (昭和50) 年4月1日  
 本 社 大阪市中央区南本町2-6-12  
 サンマリオンN B F タワー3階  
 資 本 金 566,760,000円  
 従 業 員 数 400名 (138名)  
 臨時雇用者の人員を( ) 外数で記載しております。

役員構成

(2018年4月20日現在)

代 表 取 締 役 会 長 三 浦 基 和  
 代 表 取 締 役 社 長 藤 田 武 敏  
 常 務 取 締 役 岡 光 正 範  
 社外取締役 監査等委員 裴 薫  
 社外取締役 監査等委員 石 光 仁  
 社外取締役 監査等委員 豊 田 孝 二

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月21日から翌年4月20日まで  
 定 時 株 主 総 会 毎年7月  
 基 準 日 定時株主総会・期末配当・・・毎年 4 月20日  
 中間配当・・・・・・・・・・・・・毎年10月20日  
 株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
 同 事 務 取 扱 場 所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 ( 電 話 照 会 先 ) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店  
 および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特  
 別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式情報

(2018年4月20日現在)

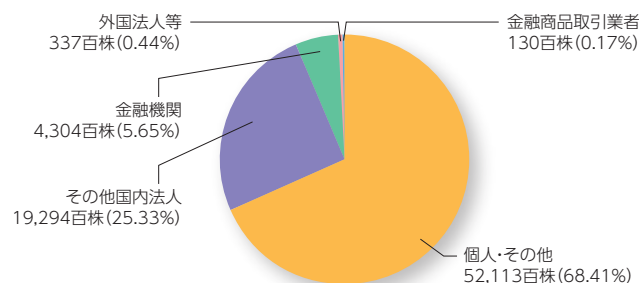
発 行 可 能 株 式 総 数 26,000,000株  
 発 行 済 株 式 総 数 7,618,000株 (自己株式を含む)  
 株 主 総 数 2,631名  
 単 元 株 主 数 2,381名 (議決権を行使すること  
 ができる株主の総数)

大株主の状況 (上位10名)

| 株 主 名                     | 持株数 (株)   | 持株比率 (%) |
|---------------------------|-----------|----------|
| 有 限 会 社 和 顔               | 1,310,900 | 20.44    |
| ダイサン取引先持株会                | 392,900   | 6.13     |
| 大 原 春 子                   | 343,200   | 5.35     |
| 金 沢 昭 枝                   | 275,200   | 4.29     |
| 三 浦 民 子                   | 268,300   | 4.18     |
| ダイサン従業員持株会                | 246,560   | 3.84     |
| 三 浦 基 和                   | 228,000   | 3.56     |
| 大阪中小企業投資育成株式会社            | 200,000   | 3.12     |
| 三 浦 宣 子                   | 128,000   | 2.00     |
| 日本トラスティサービス信託銀行株式会社 (信託口) | 100,900   | 1.57     |

(注) 持株比率は自己株式 (1,205,110株) を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



# DAISAN®

## DAISAN REPORT

44th 1Q-4Q  
 2017.4.21 ▶ 2018.4.20  
 証券コード：4750

ありがとうの先には人がいる

## Contents

- トッピンインタビュー
  - ・当期の業績について
  - ・業界の動向について
  - ・来期の経営方針と取り組みについて
  - ・IR活動について
- P.1 ▶
- 特集
  - ・中期経営計画の進展について
  - ・建設現場に関わる事業領域の拡大
- P.3 ▶
- トピックス
  - ・建築現場安全教育VR
  - ・スペシャルムービー
  - ・ユニフォームの変更
  - ・陸上十種競技 森本公人選手
- P.5 ▶

裏表紙 会社情報 / 株式情報

株式会社ダイサン

ダイサン



差出有効期間  
 平成31年6月  
 30日まで  
 (切手不要)

5458

料金受取人払郵便  
 大 阪 東 局  
 承 認

大阪市中央区南本町2-6-12  
**株式会社ダイサン**  
 経営企画室 経営企画課行

郵便はがき

541-8790

542



見やすいユニバーサルデザイン  
 フォントを採用しています。



# TOP INTERVIEW

代表取締役社長

藤田 武敏

Profile

経歴 生年月日：1968年11月20日  
社長就任日：2015年4月1日  
出身校：中京大学  
出身地：山口県  
趣味：野球、スキー

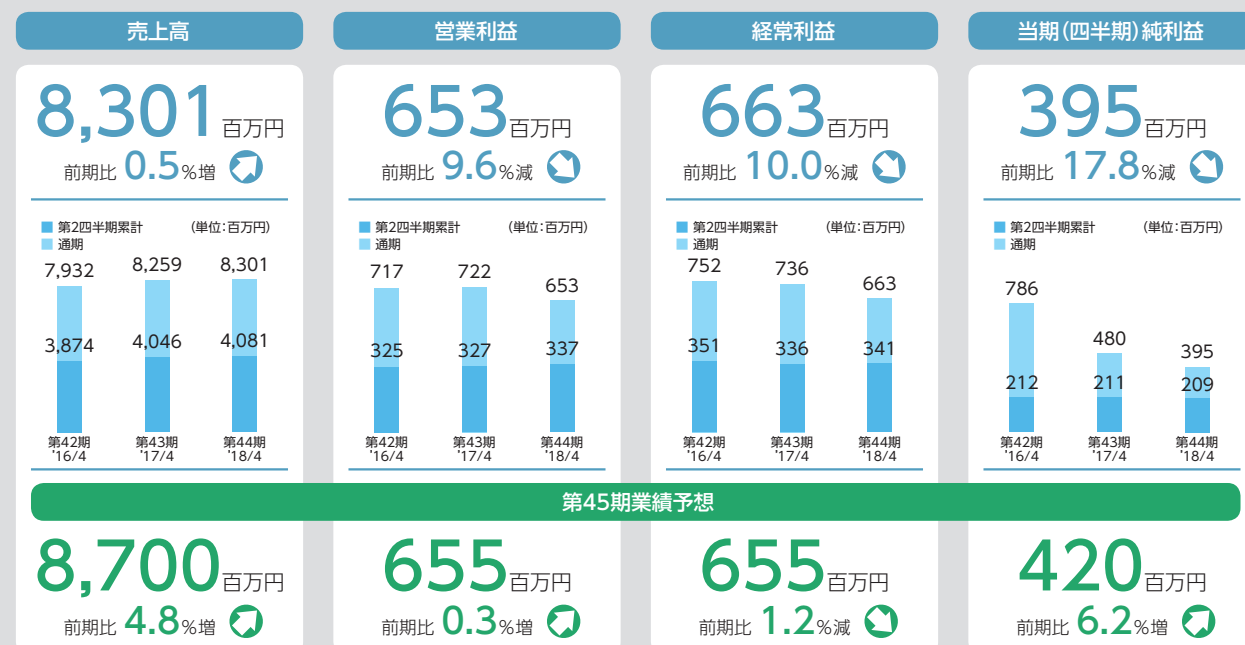


## Q 当期の業績について、概況をお教えてください。

**A** 2018年4月期の業績について、売上高は横ばい、営業利益、経常利益、当期純利益は減益となりました。要因としましては、製商品販売事業における売上高減少の影響が大きく、ビケ足場の主要な販売先において、想定以上に需要が伸びず、ビケ足場の販売高が大きく減少いたしました。また、同事業において、前期より進めている販路開拓は順調に推移し、ビケ足場以外のその他仮設足場用商品の販売量は増えたものの、ビケ足場と比べて利益率が低いことから、さらに利益を減少させることに

なりました。しかしながら、施工サービス事業においては、住宅着工戸数が前期を下回る中、大手住宅メーカーや地場大手顧客との取引拡大、中層・大型建築物向けの受注を増やすべく新たな部署を立上げ、営業力強化に努めるなどの取り組みを進めた結果、上場以来、過去最高の売上高となりました。なお、第3四半期には、サービスセンターの移転に伴って遊休となっていた土地・建物の減損処理を行ったため、31百万円の減損損失を計上いたしました。

## FINANCIAL HIGHLIGHTS 財務ハイライト



## Q 業界の動向についてお教えてください。

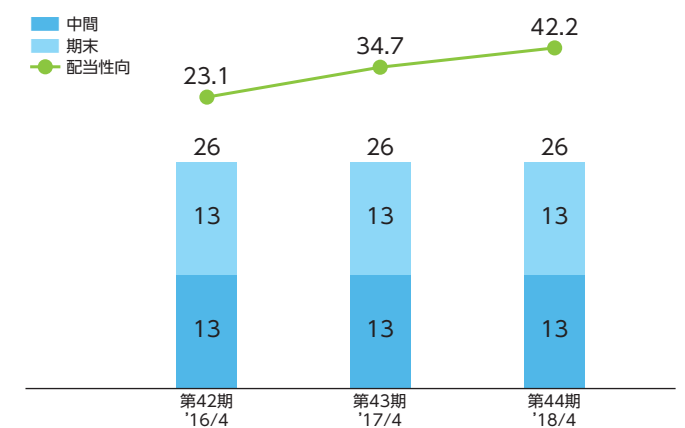
**A** 当社に関連の深い住宅業界について、下期以降、住宅着工戸数は前期と比べ緩やかに減少し、通期では前期を下回りました。中でも住宅ローンの低金利と相続税対策を背景に好調が続いていた集合住宅などの貸家の減少は顕著となりました。来期につきましては、引き続き住宅ローン金利は低位で推移するものと考えられますが、2019年10月に予定されている消費税増税については、経過措置の関係上、住宅関連の工事は、下期に影響が出るものと思われます。ただし、政府による増税の緩和策が検討されているなど、前回増税時のような駆け込み需要までは生じないものと考えられます。

## Q 来期の経営方針と取り組みについてお教えてください。

**A** 来期は、新たな中期経営計画の初年度になります。まずは、前回の中期経営計画の反省点を踏まえ、経営の重点課題である施工スタッフの採用強化については、魅力ある施工スタッフ制度の拡充とともに継続的に取り組みながらも、足場施工の作業負担を軽減するために、足場部材の軽量化や作業全体の見直し等、様々な効率化を進めてまいります。また、これまでの事業の枠に捉われず、工事現場に関わる新しい事業への参入、海外も含めた市場の開拓、新しい技術の導入など、将来を見据えた新たなビジネスモデルを構築してまいります。

## ▶ 配当金の推移

(単位:円)

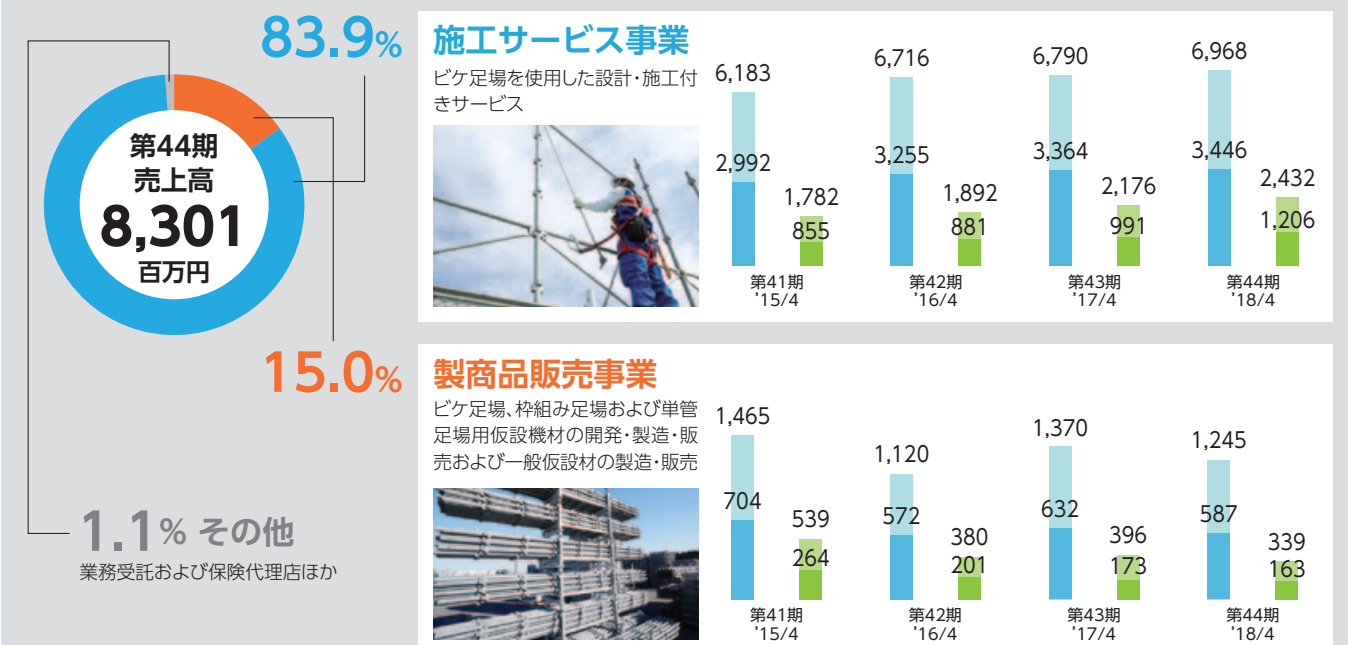


## Q IR活動についてお教えてください。

**A** 2016年4月期より、個人投資家様向けの説明会を各地で開催させていただいております。当社の事業所がある地域を開催地として、今期は広島、堺、名古屋、福岡、東京の5カ所にて実施させていただき、ご参加いただいた方の人数は、延べ353名、前期比で254%と大きく上昇いたしました。各会場でアンケートにご記入いただいた約7割の方が、当社の社名をご存じでなかったことから、今後もIR活動として、積極的に進めていきたいと考えております。その他、当社ウェブサイトにて、日々の活動をブログにより発信しておりますが、来期は皆様にご興味いただけるようなIR関連の情報発信を行っていききたいと考えております。

## OVERVIEW BY SEGMENT セグメント別概況

売上高  
第2四半期累計  
通期  
売上総利益  
第2四半期累計  
通期  
(単位:百万円)



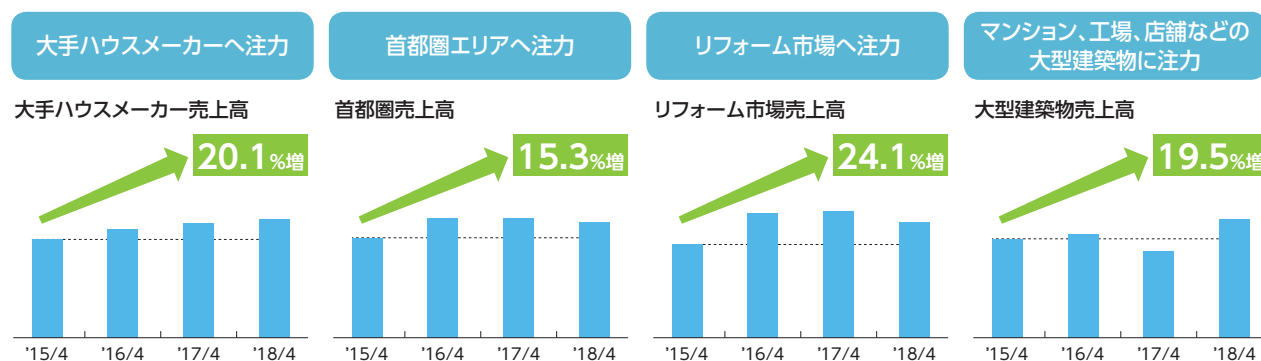


# 中期経営計画の進展について

## 前中期経営計画(第42-44期)の振り返り

|              | 第44期 '18/4          | 第43期 '17/4 | 第42期 '16/4 |
|--------------|---------------------|------------|------------|
| 施工サービス事業の売上高 | 目標▶100億円 実績▶69億円    | 67億円       | 67億円       |
| 拠点数          | 目標▶32カ所 実績▶28カ所     | 27カ所       | 26カ所       |
| 施工スタッフ数      | 目標▶700~750名 実績▶540名 | 548名       | 538名       |

前中期経営計画では、施工サービス事業の売上高100億円以上、拠点数32カ所以上、施工スタッフ数700名以上を達成すべく、下記4つの内容に対して重点的に取り組んでまいりました。



首都圏地区への新規出店、中層・大型建築物向けの営業活動を専門とする部署および採用専門の部署の設立などを行い、2018年4月期中には562名が在籍する過去最高の施工スタッフ数となりました。

しかし、期間における雇用情勢は完全雇用に近い状態で推移し、特に建設業の求人倍率は大幅に上昇するなど採用環境は厳しい状況となりました。また、夏季の暑さや仕事量の増加により施工スタッフへの負担が大きくなったことから、離職を増やす要因となりました。

出店計画については、施工スタッフ数が増えなければ、新規出店も厳しいため、期間中5拠点を広い敷地に移転することで、既

存拠点の施工能力向上に努めました。

結果として、計画通りに売上高を伸ばすことができず、目標は未達成となりましたが、引き続き、人材不足への対応は重要課題のひとつとして捉え、「魅力ある職場創り」を推進し、採用活動の強化を図るとともに、人手に頼らない収益事業の創出を目論んでまいります。

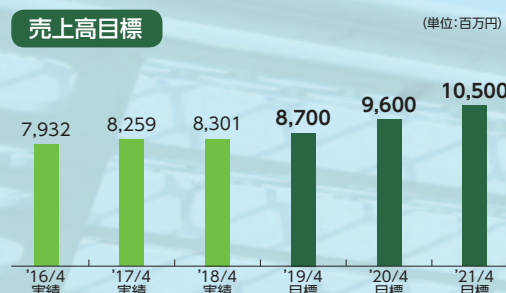
- 課題**
- ・ 縮小していく新築戸建市場への対応
  - ・ 労働集約型事業への依存を緩和する
  - ・ 施工スタッフが一生働ける組織創り

## 新中期経営計画(第45-47期)の概要

新中期経営計画では、当社を取り巻く経営環境や課題を踏まえたうえで、既存事業のさらなる成長と新たなビジネスモデルの構築に向け、下記の通り基本方針と数値目標を定めました。

### 基本方針 建設現場にファースト(最上級)なサービス(FS品質)を心から

#### 売上高目標



#### 重点戦略

- 1 中層・大型建築物と土木工事向けの足場施工と製商品販売を増やします。
- 2 施工サービス事業の資源を活用し、事業領域を広げます。
- 3 軽量部材の展開など、施工スタッフの負担軽減を図り、足場施工サービスの効率化を進めます。

### 新中期経営計画 重点戦略2

## 建設現場に関わる事業領域の拡大



### リース・レンタル事業

従来、お客様への足場提供は、「販売」と「足場施工サービス付きレンタル」のみ行ってまいりました。施工スタッフを必要としない足場部材のみのリース・レンタルを展開することで、社内保有部材の有効活用を図り、収益向上につなげます。



### 機材整備事業

5カ所の部材整備工場を設け、お客様に常にキレイな足場部材をお貸しできるよう、日々貸出後の資材の洗浄や修理を行ってまいりました。リース・レンタル事業のバックアップのほか、社外に対しても同サービスの提供を行い、収益向上につなげます。



### カメラ事業

中層・大型建築物の工事現場で、特にニーズの多い防犯システムを独自に開発・提供してまいりましたが、単なるセキュリティサービスに限らず、監視カメラを用いた遠隔現場管理システムの開発など、さらなる販路の拡大を進めてまいります。



### キャドシステム事業

厚生労働省「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱」において『足場の組立図』を作成し、手すりなどの足場用墜落防止設備の設置や点検に努めることとされています。自社受注の施工物件については、作図の対応を進めてまいりましたが、今後は作図専用のソフト開発を行い、社外向けに作図サービスの提供を展開してまいります。



### 教育事業

これまで、足場の教育は社内向けが中心であり、お客様からご依頼があれば社外向けに研修等を実施してまいりました。蓄積された社内の教育ノウハウをコンテンツ化し、多くのお客様に提供することで、安全文化に貢献するとともに収益向上につなげます。

“FS品質”のもと顧客満足度を最大限に高めるため、社内保有の資源を活用し、社外向けにサービスとして提供することで、収益向上に資する新たなセグメントに育ててまいります。また、足場の軽量化など新たな製品の開発・展開によ

り、施工スタッフの身体的な負担を軽減するとともに、事業領域の拡大により活躍できる場を広げ、全てのスタッフが「一生働ける会社」を目指します。当社で働く全てのスタッフの満足度向上が会社の成長につながる組織創りを目指してまいります。



TOPICS①

建築現場安全教育VR

建設現場で起こり得る高所からの落下事故をリアルに再現した「建築現場安全教育VR」を開発いたしました。社内における安全教育のほか、社外への販売も視野にこれコンテンツの拡充を図ってまいります。



TOPICS③

ユニフォームの変更

美津濃株式会社様と共同で、当社施工スタッフのユニフォームをリニューアルしました。スポーツで培われた『動きやすさ』を追求した独自のウェア設計を組み込んだ、当社オリジナルウェアとなっております。



TOPICS②

スペシャルムービー

ビケ足場の仕事に興味を持ってもらうためのスペシャルムービーを作成いたしました。「楽しい仕事」「明るい職場」を感じていただきたい。そのような思いを込めております。今後は、採用活動の場で活用してまいります。



TOPICS④

陸上十種競技 森本公人選手

2018年に入社された森本公人選手とスポンサー契約を締結いたしました。森本公人選手は2020年東京オリンピックの陸上十種競技出場を目指し、日々厳しい練習を重ねております。競技全般についての活動支援、当社の広報活動などを検討してまいります。



財務諸表

FINANCIAL STATEMENTS

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

| 科 目      | 当期末<br>(2018年4月20日現在) | 前期末<br>(2017年4月20日現在) |
|----------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部     |                       |                       |
| 流動資産     | 5,027                 | 4,828                 |
| 固定資産     | 3,264                 | 3,111                 |
| 有形固定資産   | 1,982                 | 1,931                 |
| 無形固定資産   | 92                    | 13                    |
| 投資その他の資産 | 1,189                 | 1,165                 |
| 資産合計     | 8,291                 | 7,939                 |
| 負債の部     |                       |                       |
| 流動負債     | 1,400                 | 1,288                 |
| 固定負債     | 185                   | 194                   |
| 負債合計     | 1,586                 | 1,482                 |
| 純資産の部    |                       |                       |
| 株主資本     | 6,632                 | 6,403                 |
| 評価・換算差額等 | 73                    | 53                    |
| 純資産合計    | 6,705                 | 6,457                 |
| 負債純資産合計  | 8,291                 | 7,939                 |

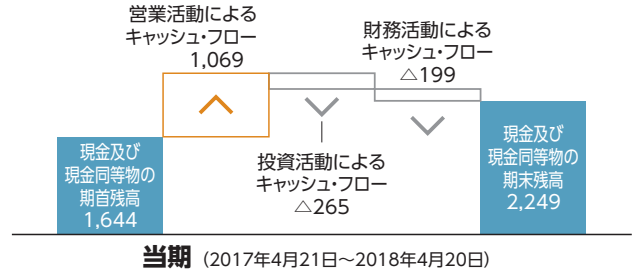
損益計算書の要旨

(単位:百万円)

| 科 目          | 当期<br>( 2017年4月21日から<br>2018年4月20日まで ) | 前期<br>( 2016年4月21日から<br>2017年4月20日まで ) |
|--------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 売上高          | 8,301                                  | 8,259                                  |
| 売上原価         | 5,477                                  | 5,623                                  |
| 売上総利益        | 2,823                                  | 2,635                                  |
| 販売費及び一般管理費   | 2,170                                  | 1,913                                  |
| 営業利益         | 653                                    | 722                                    |
| 営業外収益        | 19                                     | 23                                     |
| 営業外費用        | 9                                      | 9                                      |
| 経常利益         | 663                                    | 736                                    |
| 特別損失         | 33                                     | 0                                      |
| 税引前当期純利益     | 630                                    | 736                                    |
| 法人税、住民税及び事業税 | 228                                    | 235                                    |
| 法人税等調整額      | 6                                      | 20                                     |
| 当期純利益        | 395                                    | 480                                    |

キャッシュ・フロー計算書の要旨

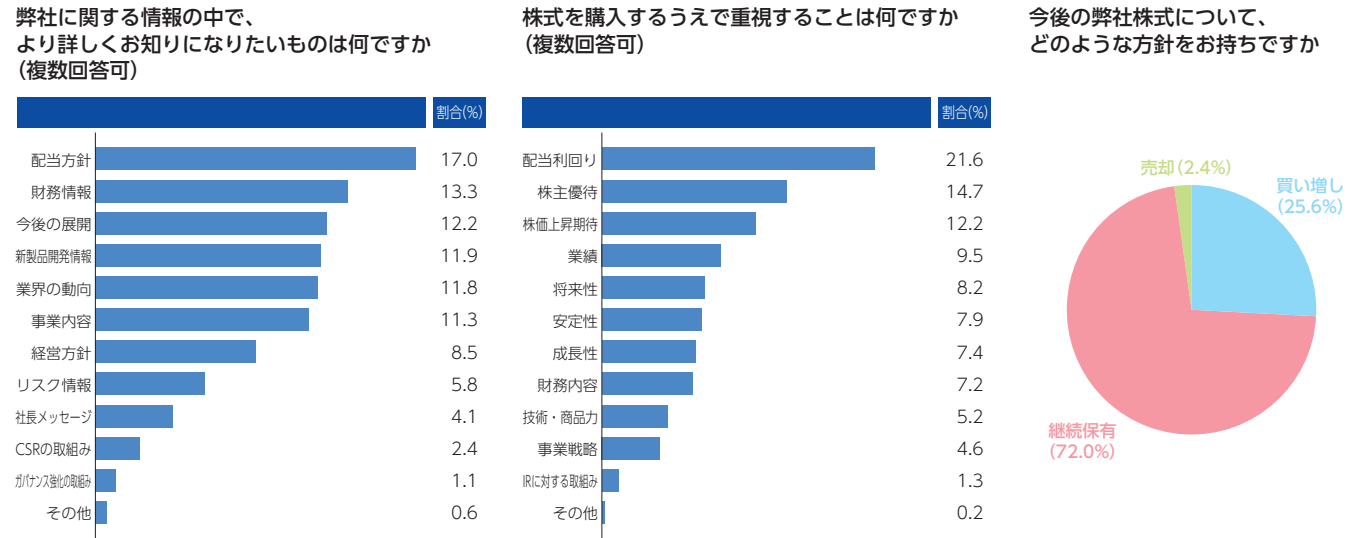
(単位:百万円)



株主アンケート結果報告

第43期の年次報告書（DAISANREPORT）にてご案内させていただきました「株主アンケート」では、266名（株主総数の13.2%）の株主様からご回答をいただきました。

以下に、2018年4月20日時点で集計しましたアンケート結果の一部をご紹介します。



ご協力いただきました株主様には、誠にありがたく、お礼申し上げます。

いただいたコメントに関して、説明会開催のご要望が多数ございましたが、今期におきましても個人投資家様向けの説明会を前期から引き続き開催させていただきました。来期におきましても積極的に開催させていただき、皆様との対話を進めてまいります。

なお、頂戴いたしました株主様の貴重なご意見は、今後のIR活動、情報発信等に活かしてまいりたいと存じます。

ウェブサイトをご覧ください

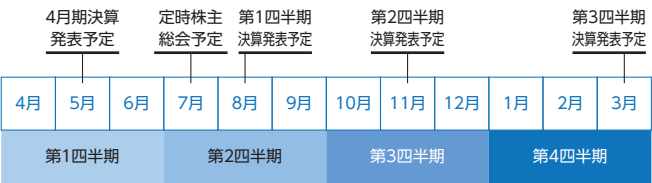
<http://www.daisan-g.co.jp/>



ダイサン 足場 検索

IRカレンダーをご覧ください

<http://www.daisan-g.co.jp/ir/calendar/>



前事業年度では、計5カ所で個人投資家様向け説明会を開催いたしました。当事業年度の開催予定など、随時更新を予定しておりますので、ぜひご覧ください。

株主の皆様へアンケートのお願い

- アンケート項目
- 報告内容をご覧になり、弊社の経営方針・取組みについて、どのくらいご理解いただけただけでしょうか？  
☐ 良く理解できた ☐ まあまあ理解できた ☐ 分からない点が残った ☐ 良く理解できなかった
  - 報告内容をご覧になり、弊社をどのように評価されますか？（複数回答可）  
☐ 事業戦略が有望である ☐ 研究開発力がある ☐ 商品・サービスが優れている ☐ 経営が魅力的である ☐ 経営の仕組が優れている ☐ その他（ ）
  - 報告書をご覧になり、弊社に対するイメージや投資判断は変わりましたか？  
☐ とても良くなった ☐ 良くなった ☐ 変わった ☐ 悪くなった ☐ 悪くなった
  - 弊社に関する情報の中で、より詳しくお知りになりたいものは何ですか？（複数回答可）  
☐ 事業内容 ☐ 財務情報 ☐ 新製品開発情報 ☐ 経営方針 ☐ 業界の動向 ☐ リスク情報 ☐ 社長メッセージ ☐ CSR（企業の社会的責任）の取組み ☐ 配当方針 ☐ ガバナンス強化の取組み ☐ 今後の展開 ☐ その他（ ）
  - 株式投資の主な情報収集源は何ですか？（複数回答可）  
☐ 新聞 ☐ 会社説明会 ☐ 証券会社 ☐ 雑誌 ☐ テレビ・ラジオ ☐ 企業のIR資料 ☐ 投資・金融情報などのホームページ ☐ 企業のホームページ ☐ クラウド・SNSなど ☐ その他（ ）
  - 株式を購入するうえで重視することは何ですか？（複数回答可）  
☐ 株価上昇期待 ☐ 事業戦略 ☐ 業績 ☐ 配当利回り ☐ 財務内容 ☐ 技術・商品力 ☐ 安定性 ☐ 将来性 ☐ 成長性 ☐ 株主優待 ☐ IRに対する取組み ☐ その他（ ）
  - 今後の弊社株式について、どのような方針をお持ちですか？  
☐ 買い増し ☐ 継続保有 ☐ 売却
  - 今後、弊社に期待すること、ご提案事項等がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。